

平成18年度 伊丹市行政評価 ～事務事業評価編～

※事務事業名に【新規】の表記があるものは、H18年度から新たに開始された事業、【未実施】の表記があるものは、「これから5年間のまちづくりプラン」に位置付けがあり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業コード133112

あり、H19年度以降に事業開始が予定されている事業。
※本記載内容は、評価表作成時点（H18年8月）のものであり、その後の状況変化などにより、公表時点において実施時期や事業費等が変更になっている場合があります。

事務事業名独居高齢者等給食サービス事業

担当部局・課市民部
共同会館

事業内容

高齢者等の自立支援と介護予防の推進として、手作り給食を通じて、独居高齢者等の孤独感の緩和や住民交流を図り、NPO法人に委託事業として進めていく。

事業開始(予定)年度
平成17年度
事業終了(予定)年度
—

この事業の
上位施策

これから5
年間のまち
づくりプラン

視点
項目
施策

支え合いでつくる「安全・安心」のまちを実現
きめ細かな地域福祉の推進
人権啓発活動、交流活動の推進

⇒「これから5年間のまちづくりプラン」は、「第4次伊丹市総合計画」の後期5か年(H18～22年度)に計画的に取り組むべき具体的事業等を明らかにした事業実施計画です。
行政評価の実施にあたっては、各事務事業をこの計画体系に沿って整理しています。

事業の目的

手づくり給食サービスを通じて、独居高齢者等のふれあい交流を図り、一人ひとりの人権を大切にすることを目的としている。

予算費目
(複数の費目にまたがる場合は、主な費目を表示しています。)

(款) 民生費
(項) 社会福祉費 (事項) 事業費
(目) 共同会館費

事業費等の概算

平成17年度(決算)

事業費588千円
投入人員0.10人
人件費857千円
経費合計1,445千円

財源内訳
国・県補助金等—
市債—
その他(使用料等)88千円
一般財源(市税等)500千円
⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)
⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

平成18年度(予算)

事業費588千円
投入人員0.10人
人件費857千円
経費合計1,445千円

財源内訳
国・県補助金等—
市債—
その他(使用料等)72千円
一般財源(市税等)516千円
⇒年間を通じてこの事業に投入される人的資源を概算により算出しています。算式で表すと次のようになります。
=担当課職員数×(当該事業の仕事量÷課の全仕事量)
⇒年間1人あたり平均人件費に投入人員をかけて積算したものです。

活動指標

指標名(単位)

延べ配食数(件)

意味・算式等

月平均20食

計画と実績

年度
区分

H17年度
H18年度

計画値
実績値

220
222

240

評価結果

B

上位施策に対する貢献度はやや高く、効率性を点検した上で継続する。

上記評価結果は、事務事業の活動状況などに関する評価に同一施策内での各事務事業の相対的な評価等を加味して総合的に評価したものです。